年次報告書2022

コーヒーに確かな未来を

WORLD COFFEE RESEARCH™

ワールドコーヒーリサーチ(WCR)は、 世界のコーヒー業界を結束させて、 科学的根拠に基づく生産性向上を促進し、将来に向けて持続可能な多種の品質の高いコーヒーを供給すると言う喫緊の課題に取り組んでいる。

我々の戦略目標. 戦略的にターゲットを絞った複数の重点国において、コーヒー栽培の農業イノベーションを加速させ、気候変動の危機に対して産地の多様性を維持する

本報告書について

本報告書は2022年1月1日から2022年12月31日に至るWorld Coffee Researchの活動、ハイライト、成果をまとめたものである。

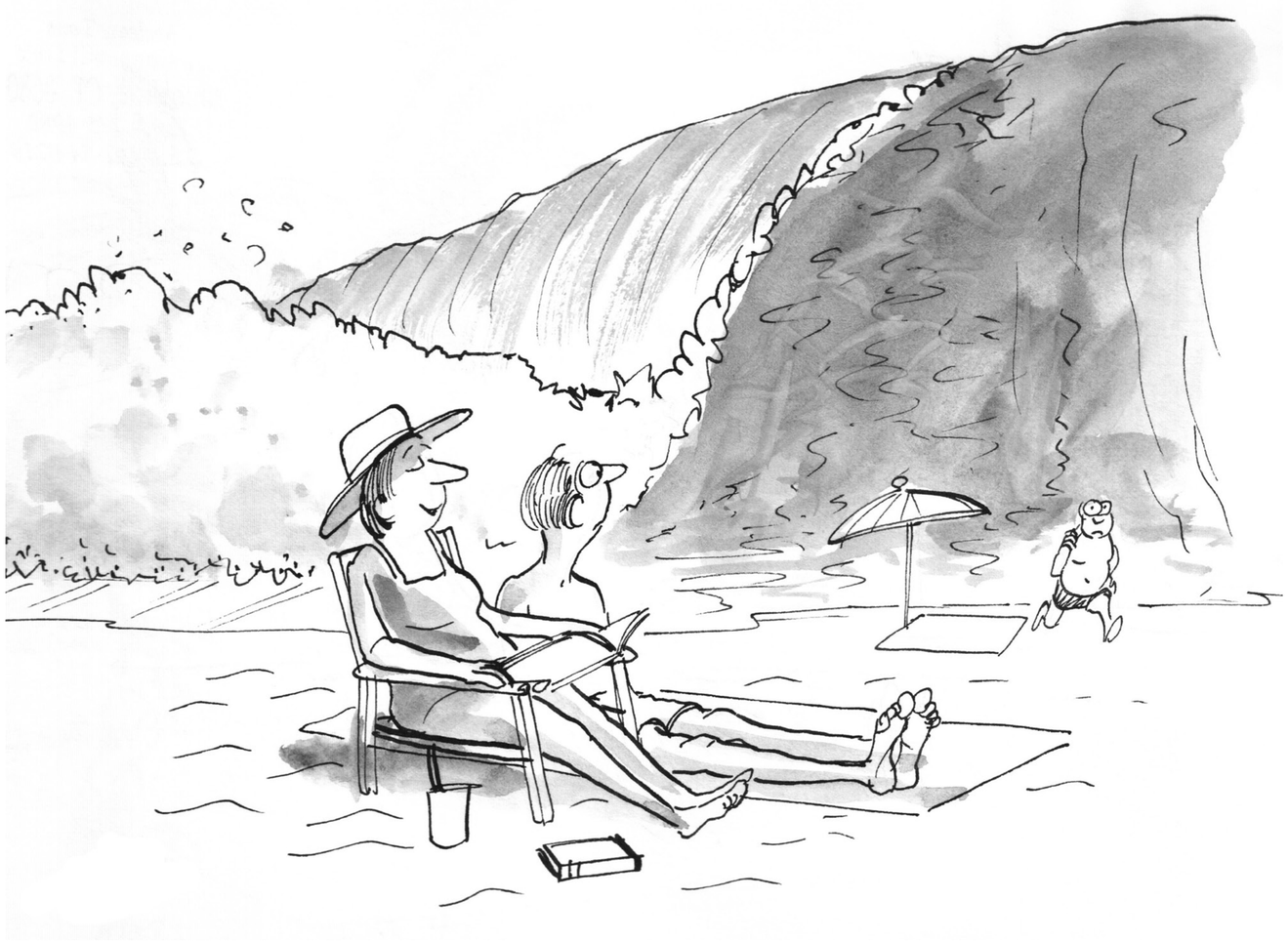
我々の挑戦

コーヒー産業のリスクは増大している

- 生産者は脆弱であり、気候変動による課題は複雑 化している.
- 消費は世界的に増大するも、供給は主要数か国に偏っている
- 数十年にわたりコーヒー農業研究開発への年間 投資額ギャップは1億米ドル超
- イノベーションの遅れが、恒常的に生産性の低下を招き、供給網整備とサステナビリティ対応への遅れにつながっている

私たちの業界の存続は、前世紀に開発された古い植 物の上に成り立っており、現在の農家の課題には対 応できていない。

過去



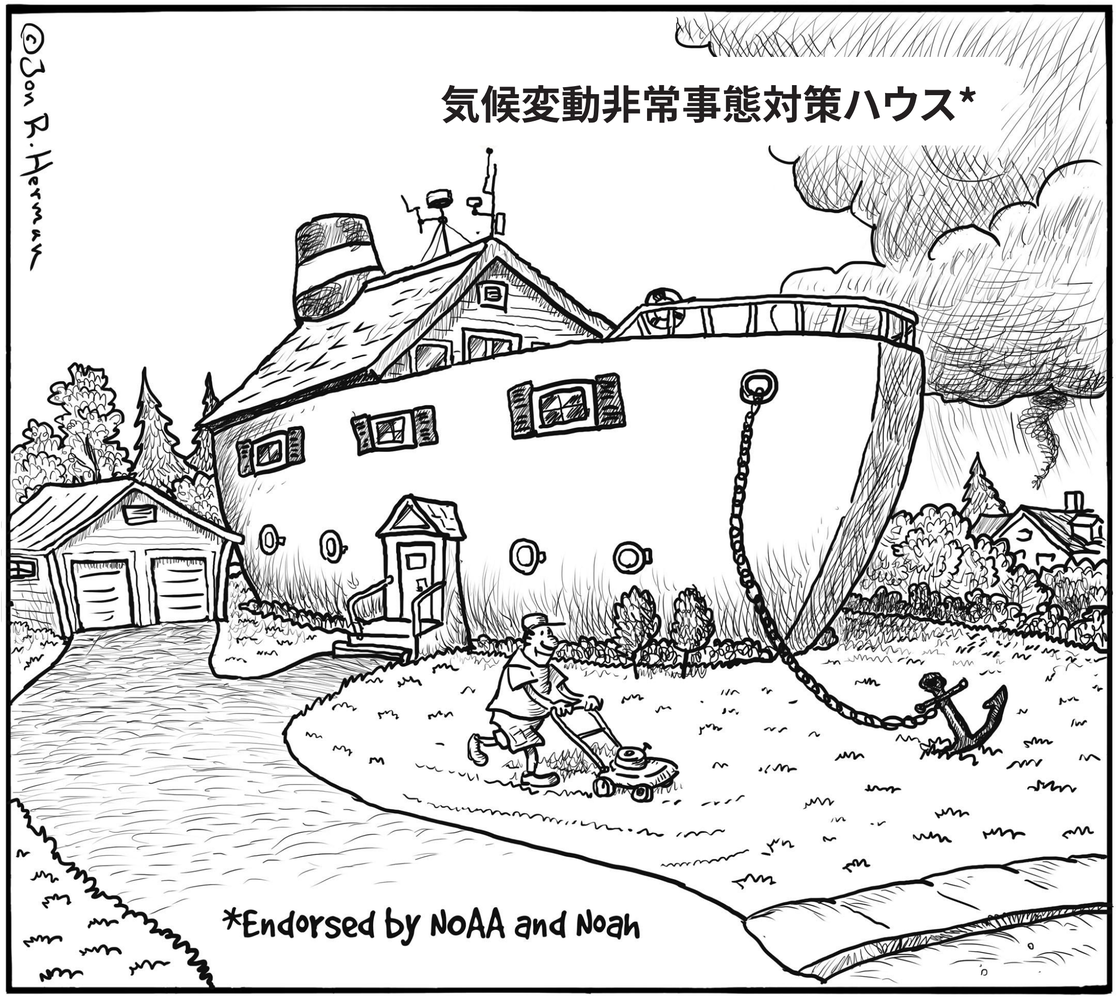
"「気候変動騒ぎも収まったことだし、のんびり楽しむことにしよう」"

我々の解決策

イノベーションこそ（ノアの）箱舟

- 生産者が、質の良い苗木を入手できるようにする
- 複数の生産国で実施された多様な生産地の研究結果を通じて、技術革新を促進する
- 基礎研究段階で各社が協力し、研究開発コスト を分担して、多様な生産地の複雑性に対処する
- 業界からの支援を通じて、政府による大規模な補完的 投資を活用する

将来



WCRの変革推進活動

直接的な活動

産業への投資

- 現代の需要に基づく品種改良
- 世界規模の品種実証試験
- 育苗•育種セクター強化

支援要請活動

多額の公的支援の活用

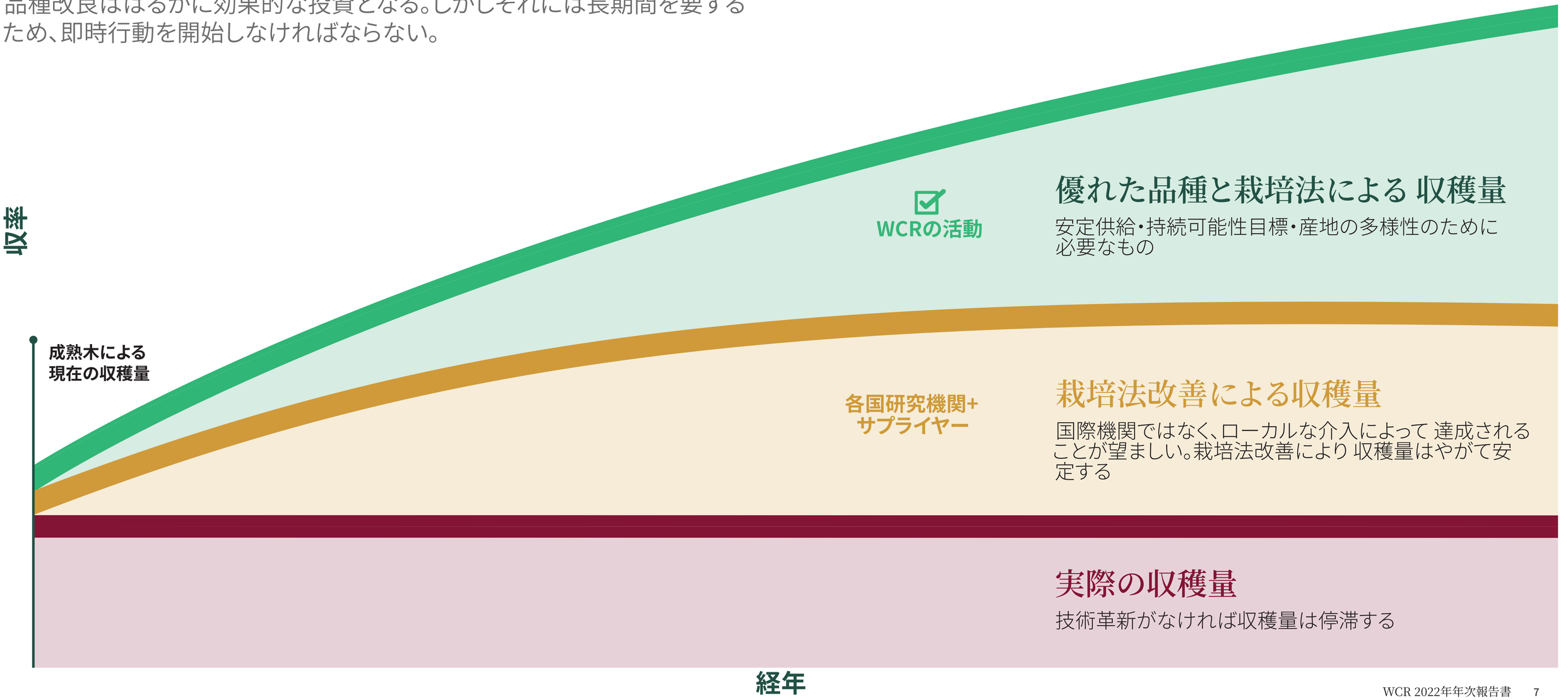
消費国の各国政府に働きかけてコー ヒー栽培研究開発資金を増大させ、コーヒー産業が直面する広範な、大きな課題 対応する

コーヒーの未来

供給リスクを低減し産地の多様性 と市場差別化を確立して、温暖化対策と持続可能性目標を達成

品種の重要性とは

栽培法を最適化した後、生産性向上のためには品種開発が必要になる。WCRのような国際規模の組織では、地域ごとに行う栽培法改善に比して、品種改良ははるかに効果的な投資となる。しかしそれには長期間を要するため、即時行動を開始しなければならない。



WCRの活動

WCRの4つのプログラム分野は、短期・中期・長期の成果を目指す.

品種改良

10〜30年で生産者 に成果を届ける

実証試験

7〜15年で生産者 に成果を届ける

育苗

1〜7年で生産者に 成果を届ける

グロ ーバル・リーダーシップ

1〜3年で生産者に 成果を届ける

FARMERS

2022年度のハイライト

品種改良

グローバルコーヒー品種改良ネットワーク「Innovea」を設立。50年に及ぶコーヒー品種 改良活動において初の国際協カネットワークと なる。

実証試験

世界的多地域品種実証試験が進み、初めて世界規模の結果を出す。中米とペルーにおける商業 化に向けた試験用にF1ハイブリットを準備。

育苗

ウガンダ、中米、ペルーに定着するコーヒーの 品質保証を強化する取り組みを行う。

グロ ーバルリーダーシップ

においてコーヒー産業のため戦略的効果のある法制を推進、コーヒー研究開発への資金を 強化。.

メンバーシップ

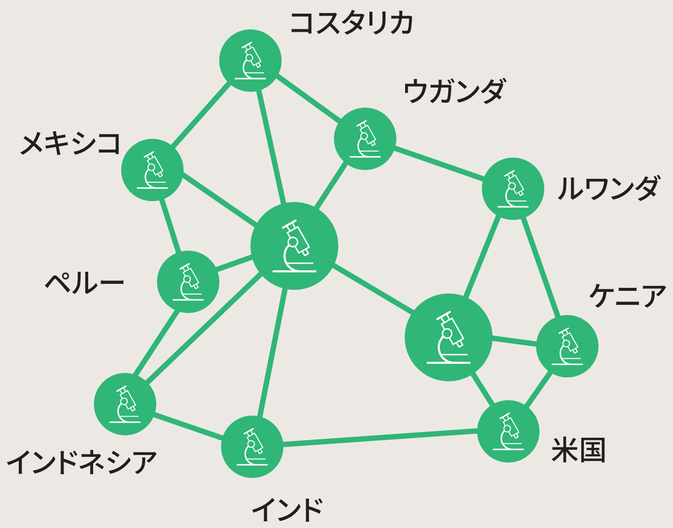
会員企業の間でより公正で透明性が高い資金調達モ デルを導入し、長期にわたる持続的資金確保を 目指す。

品種改良

10〜30年で生産者に成果を届ける

グローバルコーヒー品種改良 ネットワーク「Innovea」が発足

50年間で初のコーヒー品種改良の国際協力として、一段と高い品質を求め、効率的な品種改良を実 現することを目指して、Innoveaが発足し協力各国 を結集していくことになった。ネットワークの目的 は国々の能力を大きく強化して各市場にマッチした 新しい品種を創出し、気候変動や産地の多様性の維 持など、今後の世界的なコーヒー生産課題に対応し ていくことである。



Innoveaのハイライト

- 加盟9か国：コスタリカ、米国、インド、インド ネシア、ケニア、メキシコ、ペルー、ルワンダ、 ウガンダ
- ユニークな国際協力プラットフォームを創出す る Coopetition（協力+競争）モデル
- 10か国11試験地による気候変動対応力調査
- 前例のない遺伝物質の組み合わせによる遺伝 的多様性の注入
- 加速度的に影響が及ぶ先端的な品種改良アプローチ（ゲノム選択+需要に基づく品種改良原則）
- • 生産各国が変革するためのサポートとトレーニ ングの生産性向上プログラム

定量的な進展

最初に作られた母集団=親木16種類、交配の組み合わせ30種類、受粉回数13,000回

詳しくは
Innoveaのオンラインセミナーで！

香味品質をスクリーニング

WCRでは品種改良種における香味品質を予測する方法を探っている。カッピングなど従来の評価方 法は、数千種に及ぶそれぞれ異なる木のデータを 集める必要があるため、品種改良プログラムで早 期の選抜に使うことはできない。WCRは2022年に Coffee Science Foundationと共同で予備研究を完了し、その成果を今後さらに発展させていく。

ハイライト

- 2021年から2022年にかけて、記述式のカッピン グ、化学法、メタボロミクス法（注）、近赤外線分光法分析を用いて、コーヒー標本231種を評価
- 述式カッピングには24か国93社が参加

タイムライン

2022: Innovea 発足
2023年：第一期個体群を各国に配布
2023-2028年：実証試験実施、データ収集
2028、2034、如40年以降：新しい個体群を 創生、配布 各国の品種改良アプローチに基づき、新品種配布は2034年にも開始

実証試験

7〜15年で生産者に成果を届ける

WCRは世界各地で数十の実証試験場を運営し、研究ステーションと生産者の栽培地で、異なる環境における既存種と新品種双方の試験を行っている。香味品質に関する業界のフィードバックを世界中から収集し、成果結果に反映する。

F1ハイブリッド実証実験

最終4候補が商業化に向けた試験へ

ハイブリッド交雑種46品種による元集団から 最終的に4品種が選ばれ、中米の実証試験パートナーらの協力で基礎的試験に臨むことに なった。WCRの研究結果では、これら品種は 他のハイブリッドと比べ、25〜30%高い収穫 量を示した。その成果は2023年に開始する商 業的枠組みの中で検証される。

国際多地域実証実験(IMLVT)

世界最大規模のコーヒー品種実証試験による 初めての実証成果

IMLVTは、18か国の29か所31品種(若木5万本)を対 象に2015年に開始された世界最大規模のコーヒー品種実 証試験である。2022年に収穫量、病害への抵抗力、香味品質など、品種パフオーマンスの第一回目の 全般分析が公表された。データ収集は2029年まで継 続される。

- 7か国ですでに木が成熟し(すなわち3回の収穫が 行われ)、4か国で収穫が2回行われている。
- グローバル・カッピング:6か国の試験農場から10 品種が世界各地のコーヒー関連会社42社の有資格Q グレーダーに送られ、記述式カッピングを含めた総 合的な感応評価が行われた。
- 2か国(インドネシア、オーストラリア)が試験で 特定された改良品種の導入権を交渉した。
- パフオーマンスのデータに基づき、IMLVT試験に付 された品種中11品種で世界的に好成績が確認され、Innovea品種改良ネットワークの新しい交雑種づくりに利用されることになった(11ページ参照)。

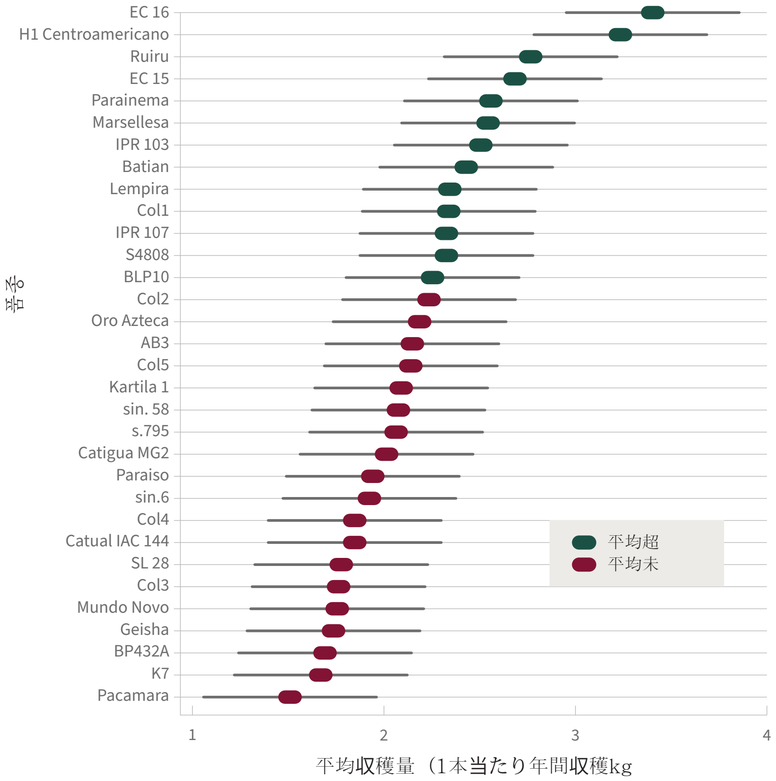


図118か国32品種の3年にわたる世界平均収穫量。品種により 栽培地が少ないもの、データ取得年数が短いものを含む。上位4 品種(EC16、H1、Ruiru11、EC15)はいずれもF1ハイブリッド種で、そのパフォーマンスの優位性を実証した。最上位の EC16 (別名Mundo Maya)の収穫量は最下位のPacamaraの2倍 以上となる。

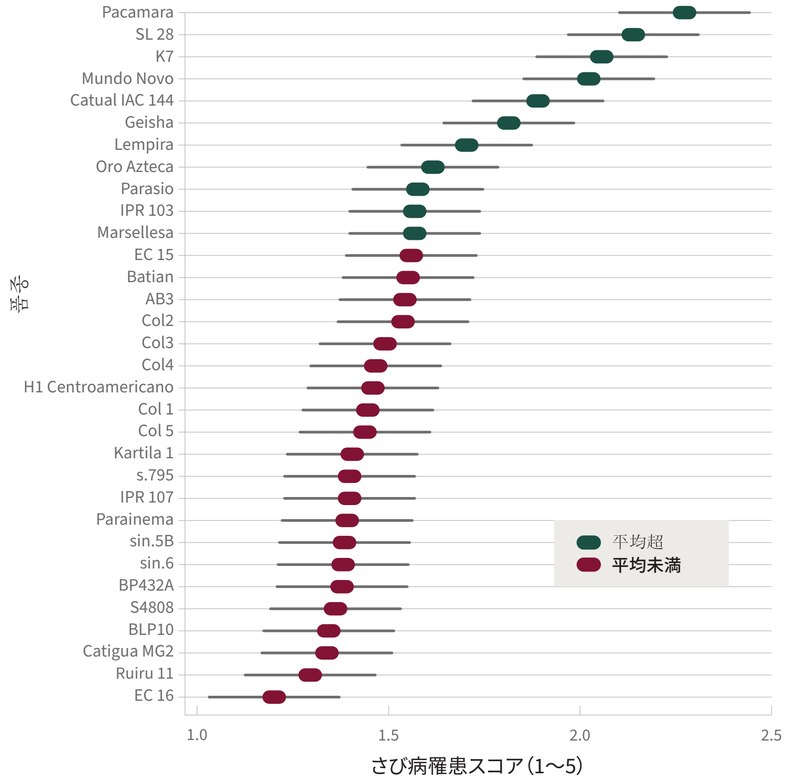


図218か国32品種の3年にわたるさび病罹患実績の世界平均。品種により栽培地が少ないもの、データ取得年数が短いものを含 む。上位の品種(Pacamara、SL 28、K7、Mundo Novoなど) はさび病に罹る率が高い。最上位のPacamaraは世界平均収穫量 で最下位となることからも(図1参照)、この品種への病害の深 刻さがわかる。

詳しくは
IMLVTウェビナーで

育種・育苗事業

1〜7年で生産者に成果を届ける

農家にとって、適切な品種の健康な苗木を 手に入れることは非常に重要であるが、 コーヒー生産国のほぼ全ての国で、新しい コーヒーの木に対する総合的な品質保証システムが欠如している。2022年にWCRは研 修と遺伝的適合性試験を通し、より優れた 木をウガンダ、中米、ペルーの生産者に届 けるプロジェクトを開始した。

また非常に混乱したコーヒー種子・苗木の 配給状況のどこに障害があるかを把握し、 それに対応するため、総合的なアプローチ するこうした活動を一層深め、拡大するのに役立つことになる。

進捗状況

- 世界規模の育苗生産者研修：中南米の大規 模商業育苗場20か所（うち10か所がWCR VerifiedsMステータスを獲得）を含む60か所
- 優秀な木の生産を目指す研修受講者：75名
- 支援先育苗場の苗木生産能力：8,841,332本
- エルサルバドル農業省が計画する改良プログラムのための育苗場63か所の予備評価。実現に至れば、生産者が真に植えたい品種を確実に配布するために遺伝子試験を使 う、国家による初の改良計画となる（2,400万本を植え替える計画）。
- ウガンダでは立枯れ病に強いロブスタのク ローン苗10万本を育てて配給するプログラ ムが進行中。この木により生産者はこれま での収益の250%を挙げることができると考 えられる。WCRはウガンダ国内の7か所の 認定アラビカ種採種場で遺伝子試験を完了し、ウガン ダのコーヒー開発庁（Uganda Coffee Development Authority）を支援した。

課題

コーヒー種子の配給システムとサプライ チェーンを調査したほぼすべての国で、共 通する一連の課題が見つかった。WCRは今後プログラムを通して問題に対処 していく。

- 生産者リスクを低減するのに役立つ、健 康な遺伝的純粋性を有する改良品種につ いての知識の欠如
- 新品種導入にかかわる法的枠組みの欠如
- 育苗場に種子を供給する採種場・育苗場 における根強い遺伝的純粋性の問題
- 育苗場で健康な木を育てるための研修と優れた栽培実践方法の欠如
- 改良品種に対する市場の需要不足
- ほとんどの国において生産者に苗木を配 給する正規のインフラが不整備で、主な ステークホルダーを特定し訓練や支援す ることが困難になっている。他の作物に はより構造的に整備された種子・苗木の配 給体制が存在する。

グローバル リーダーシップ

1〜3年で生産者に成果を届ける

支援要請活動

WCRは2022年、米国においてNational Coffee Associationの主張に沿って法 律制定を目指す重要な活動を開始し、同協会と共にコーヒー研究に対する米 国政府の支援強化に成功した。今後は 他の国々でも支援強化につながる活動 を行っていく。

- 当年度の成果として以下を達成した。
- 米国を本拠地とする複数のWCR加盟企業が支援活動に参加。
- Global Food Security Act（世界食糧安全法）が 可決して資金が追加され、小規模生産者の重視と コーヒー産業に資する農業研究開発への支援が明 らかにされた。
- Coffee Plant Health Initiative Amendments Act 法）が導入され、2023年農業法と共に可決すれば、重要なコーヒー病害研究への資金調達方法を拡大 することが可能となる。
- 米国連邦議会予算が可決し、低所得国のコーヒー 農業研究開発への支出を促し、コーヒー栽培に有 用な研究への公的助成金の資金調達が著しく強化 されることになる。

成果の活用

コーヒー開発プロジェクト

義ある農業研究開発ツールで貢献している。こうし たプロジェクトは、研究投資を通して長期的な視野 に基づいて考慮がなされ、開発努力へと道を拓くも のであり、小規模生産者が研究開発の恩恵を受ける を促進するための重要な原動力である。

- WCRは2022年、6か国で行われた国際コーヒー開発プロジェクト3件に参加（中米のMOCCAプロジェクト、フィリピンのPhilCAFE、ペルーのPeru Coffee Alliance for Excellence）
- • これらのプロジェクト投資額は計7,300万米ドル、13万の生産者が恩恵を受ける

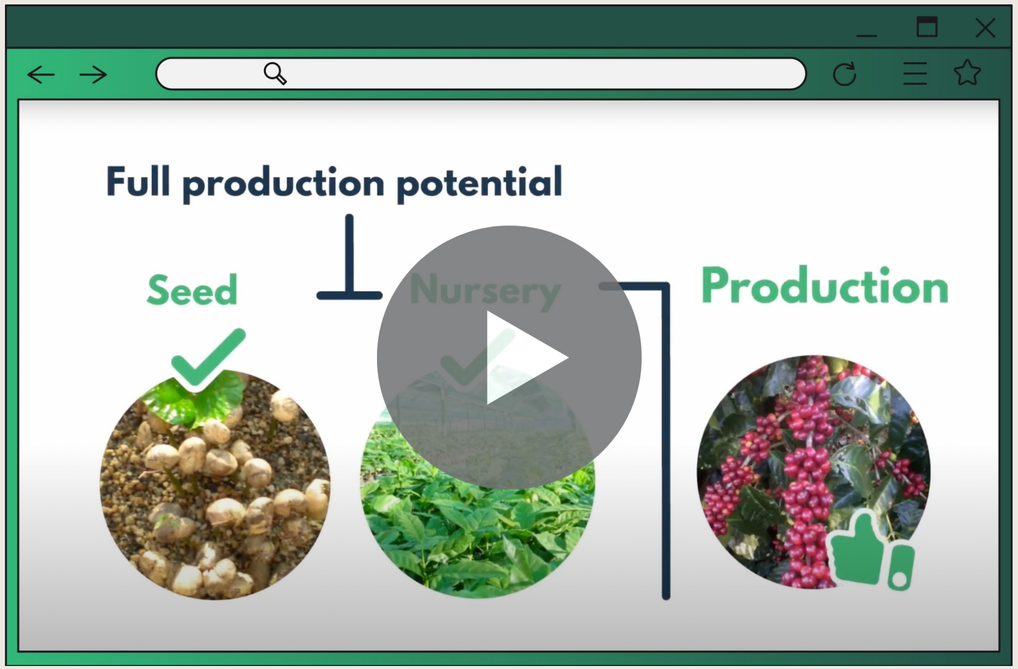
知識の共有

2022年、知識を広めるWCRの出版物（Arabica Varieties Catalog、Sensory Lexicon、育苗マニュ アル、その他）には190か国以上から201,779回の アクセスがあった。

新動画刊行！

育種およびコーヒー育苗場管理の実践ガイドとして、6巻から成る指導動画を刊行。

英語版・スペイン語版・フランス語版を用意 その他言語版も準備中！



以下から無料ダウンロード：
worldcoffeeresearch.org/programs/guides

WCRオンラインセミ ナー

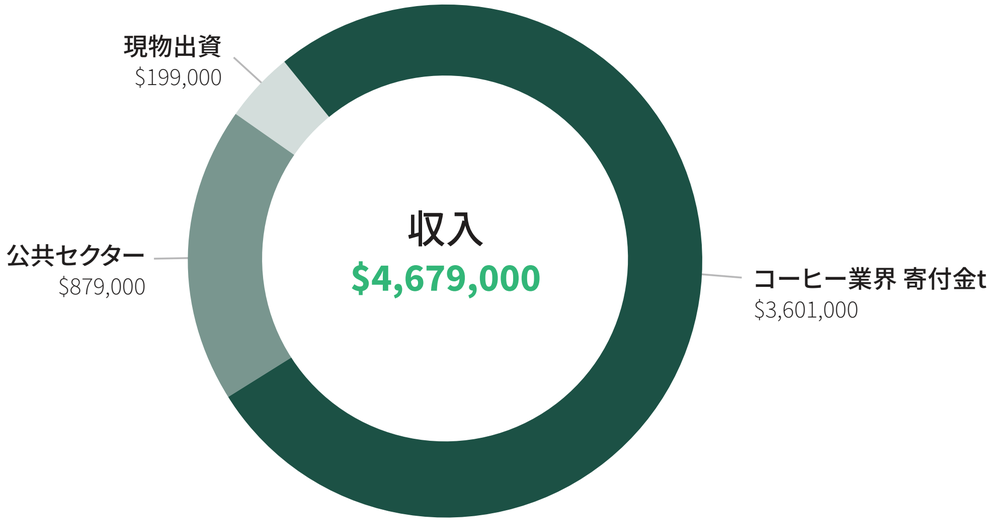
58か国352名が視聴

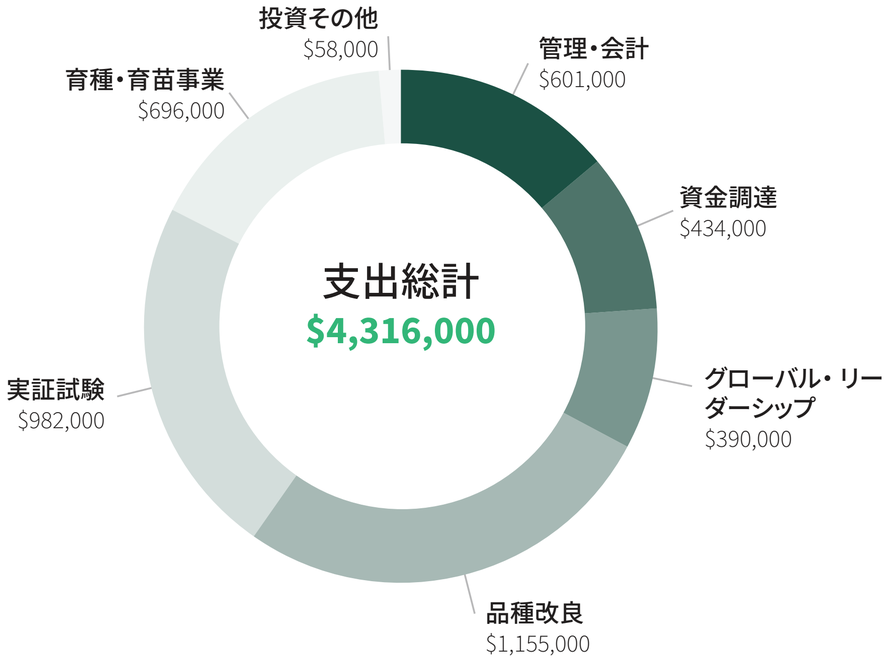
ダウンロードまたは視聴：
worldcoffeeresearch.org/resources

2022年財務結果*

2022年の経済動向は依然として不透明であったが、慎重な支出管理を行い、参加企業と個人の支援を得て、WCRは堅調な財政基盤を維持した。

2022年中のコーヒー業界からの 拠出額**は $3,599,000





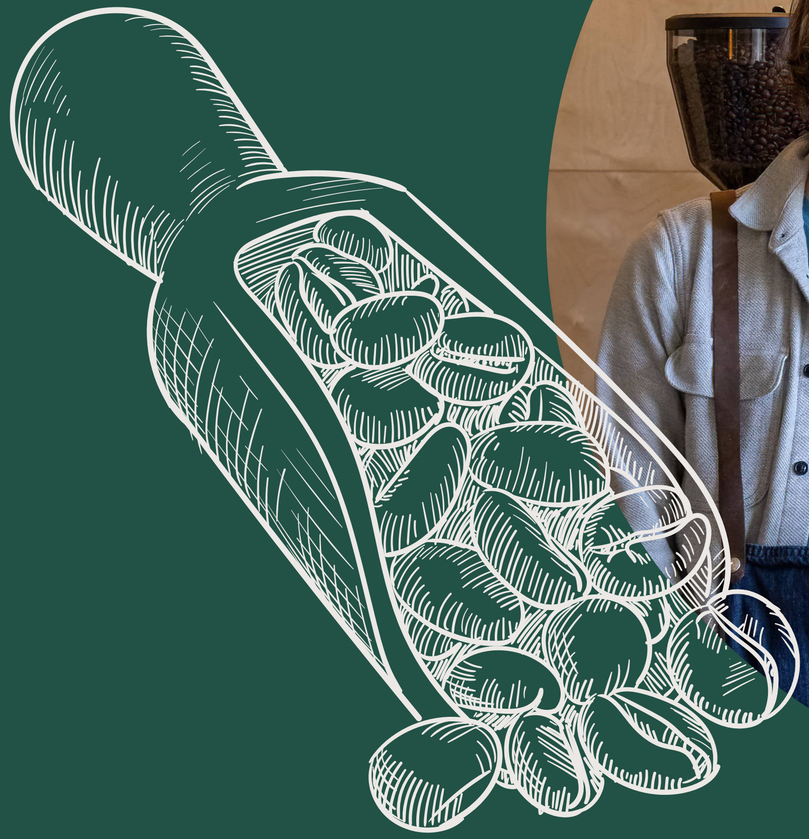
2022年度末財務状況

現金/投資	$4,305,000
誓約済み受取勘定	$5,868,000
その他資産	$485,000
負債	$421,000
純資産:	$10,237,000
総計	10,658,000

tうち今後の年度の誓約済み$1,695,000
*発生主義による監査前数値
**当年度および前年度の誓約による拠出金と 現金（GAAP以外）

新しいメンバーシップ モデル

WCRの会員制度・資金調達モデルは2022年にコーヒーの購入量 または年間売上高に応じて出資するよう変更された。このアプ ローチにより、会員企業間の公平性と透明性が高まり、資金調達 の持続性を確保することになる。新しいモデルは、2022年の グローバル品種改良プロジェクトなど、WCRが2021年から2025年にかけての戦略計画の実施を支援することになる。



WCRの会員企業Fulcrum Coffeeはシアトルを拠点としている

2022年度の会員と支援者

大小の企業から成るWCR会員がコー ヒー研究の世界的アジェンダに共同で 取り組むために出資。活気あるサステ ナブルなコーヒー産業に向けて貴重な 礎を形成している。

2022年度 27か国の加盟企 業205社から財政支援が寄せ られた。

メンバーシップのレベ

- Coffee Blossom
- Coffee Tree
- Seedling
- Sprout
- Seed

Coffee Blossom

Coffee Tree

Seedling

- Allegro Coffee Company
- Community Coffee Company
- illycaffè
- La Marzocco
- PROBAT

Sprout

- Asahi Quality & Innovations
- Blue Bottle Coffee
- Caravela Coffee
- Chameleon Cold-Brew
- Coffee Circle
- Counter Culture Coffee
- De'Longhi
- Dutch Bros Coffee
- Eight O'Clock Coffee
- Intelligentsia Coffee
- La Colombe Coffee Roasters
- Mercon Coffee Group
- Philz Coffee
- Strauss Commodities
- Sucden Coffee
- Workshop Coffee

Seed

- 1740 Coffee Genesis
- 1Cup Coffee Roasters
- Atlas Coffee Importers
- Bäckerei Happ GmbH & Co.
- Barrie House Coffee
- Beanstock Coffee Roasters
- Beck Flavors
- Bell Lane Coffee
- Bewley's North America/Java City
- Black Oak Coffee Roasters
- BlendIn Coffee Club
- Blossom Coffee Roasters
- Blume Coffee Traders
- Bodum Roasting
- Bolt Coffee Company
- Boomtown Coffee
- Boon Boona Coffee
- Boxcar Coffee Roasters
- Brewpoint Coffee
- Bridge Coffee Co.
- Bulavity
- Bun Coffee Byron Bay
- BUNA
- Cafcom Trading
- Cafe Imports
- Cafe Virtuoso
- Calendar Coffee
- Camber Coffee
- Caravan Coffee
- Casa Espresso
- Chanji Coffee Firm
- Chouette Torréfacteur Laboratoire
- Coastal Coffee Traders
- Coffee Bros.
- Coffee Friend
- Coffee Libre
- Coffee Nexus Ltd.
- Coffee Traders
- Coffeebar
- Coldblow Coffee Company
- Colour Coffee Roasting
- Covoya Americas
- Covoya Ltd.
- Crankhouse Coffee
- CUPRIMA
- Curve Coffee Roasters
- Dancing Goats Coffee
- Dark Woods Coffee
- Dear Green Coffee Roasters
- Descamex
- Dispatch Coffee
- Don Alberto Coffee Co
- Driftaway Coffee
- DRWakefield
- Dunn Brothers Coffee
- ECRE
- Equator Coffees
- Espanola Coffee Roasters
- Exhale Healthy Coffee
- Falcon Coffees
- Firsthand Coffee
- FiXX Coffee
- Flat Fox Coffee Company
- Fort Findlay Coffee & Doughnut Shoppe
- Fortitude Coffee Roasters
- Friday Coffee Roasters
- Fuglen Coffee Roasters Oslo
- Fuglen Coffee Roasters Tokyo
- Fulcrum Coffee
- Full City Rooster
- Gaia Artisan Coffee
- Greenway Coffee Company
- Hansa Coffee
- Heart and Graft Coffee Ltd
- Horiguchi Coffee Institute
- Horsham Coffee Roaster
- Huckleberry Roasters
- Imbibe Coffee Roasters
- InterAmerican Coffee
- Intercontinental Coffee Trading
- Irving Farm New York
- Johann Jacobs Haus
- Jones Coffee Roasters
- Junker's Café-Rösterei
- KALDI COFFEE FARM
- Kaldi's Coffee
- Kiss the Hippo
- Kittel Coffee
- Kona Kaffeerösterei
- Kua
- Kyokuto Fadie Corp.
- Landmark Specialty Coffee
- Limini Coffee
- List + Beisler
- MadCap Coffee Company
- Mantra Coffee Beans
- Marigold Coffee
- Market Lane Coffee
- Marubeni Foods
- Melbourne Coffee Merchants
- Method Coffee Roasters
- Metric Coffee Co.
- Monastery Coffee
- MoonGoat Coffee Roasters
- Moplaco Trading
- Mount Sunzu Coffee
- Mr. Espresso
- Nemesis Coffee
- North Fork Coffee Roasters
- Nylon Coffee
- Old Spike Roastery
- Olisipo Coffee Roasters
- Ome Project PLT
- Orbital Coffee Roasters
- Origin Coffee Roasters
- Ozo Coffee Roasters
- Pacific Espresso
- Peekskill Coffee
- Philippine Coffee and Barista Insitute
- Prometheus Coffee Roasters
- Quaffee
- Rabbit Hole Roasters
- Rave Coffee
- Raw Bean Limited
- Red Cedar Coffee Co.
- Rimini Coffee
- Ringtons Ltd
- Rio Coffee
- River City Coffee Ltd
- Roast House Coffee
- Rose N Crantz Roasting Co.
- Rose Park Roasters
- Ross Street Roasting Co.
- Roundtable Coffee Works
- Rumble Coffee Roasters
- S. Ishimitsu & Co.
- Saint Henri - Micro Torrefacteur
- Sample Coffee Roasters
- Sarutahiko Coffee, Inc.
- Satoru Coffee
- SCS Global Services
- Single O
- Small Planes Coffee
- Solberg & Hansen
- South Texas Coffee Initiative
- Spyhouse Coffee Roasting Co.
- Square One Coffee Roasters
- Stitch Coffee
- Structure Coffee Roasters
- Sustainable Harvest
- Sweet Maria's Coffee
- Swiss Water Decaffeinated Coffee Company
- Taf Coffee
- Tata Coffee Ltd.
- TBD Coffee Co
- Temecula Coffee Roasters
- Temple Coffee Roasters
- TERAROSA (Haksan Co.Ltd)
- The Coffee Source
- The Roastery
- The Steam Engine
- Tony's Coffee
- Torque Coffees
- Trabocca
- Transcend Coffee
- Tropic-X
- True Stone Coffee Roasters
- Union Hand-Roasted Coffee
- Vagabond Coffee Roasters
- Vides58Coffees
- Walker Coffee Trading
- WB Coffee
- West Cork Coffee Roastery
- Zephyr Green Coffee

2022年には26の企業や個人が追加の資金援助を提供した

- Brian Gaffney
- Coffee by Tate
- Condesa Co. Lab
- Crop to Cup Coffee
- Excelco Trading
- Foodbuy (Farmer Brothers Artisan Coffee)
- Hacienda La Minita
- Hoffmann Industries
- Jared Gottdiener
- Jonas Wellington
- Lüna Coffee
- MiiR
- Myracle Kitchen
- Nicolas Rivolta
- OFI International
- Osito Coffee
- Primavera Coffee Importers
- Prufrock Coffee
- Royal Cup Coffee
- Samuel Liu
- Square Mile Coffee Roasters
- Sucafina Specialty North America
- Sucafina Specialty NV
- Travis Horesh
- Westrock Coffee Company
- Wonderstate Coffee

チェックオフプログラム参加者

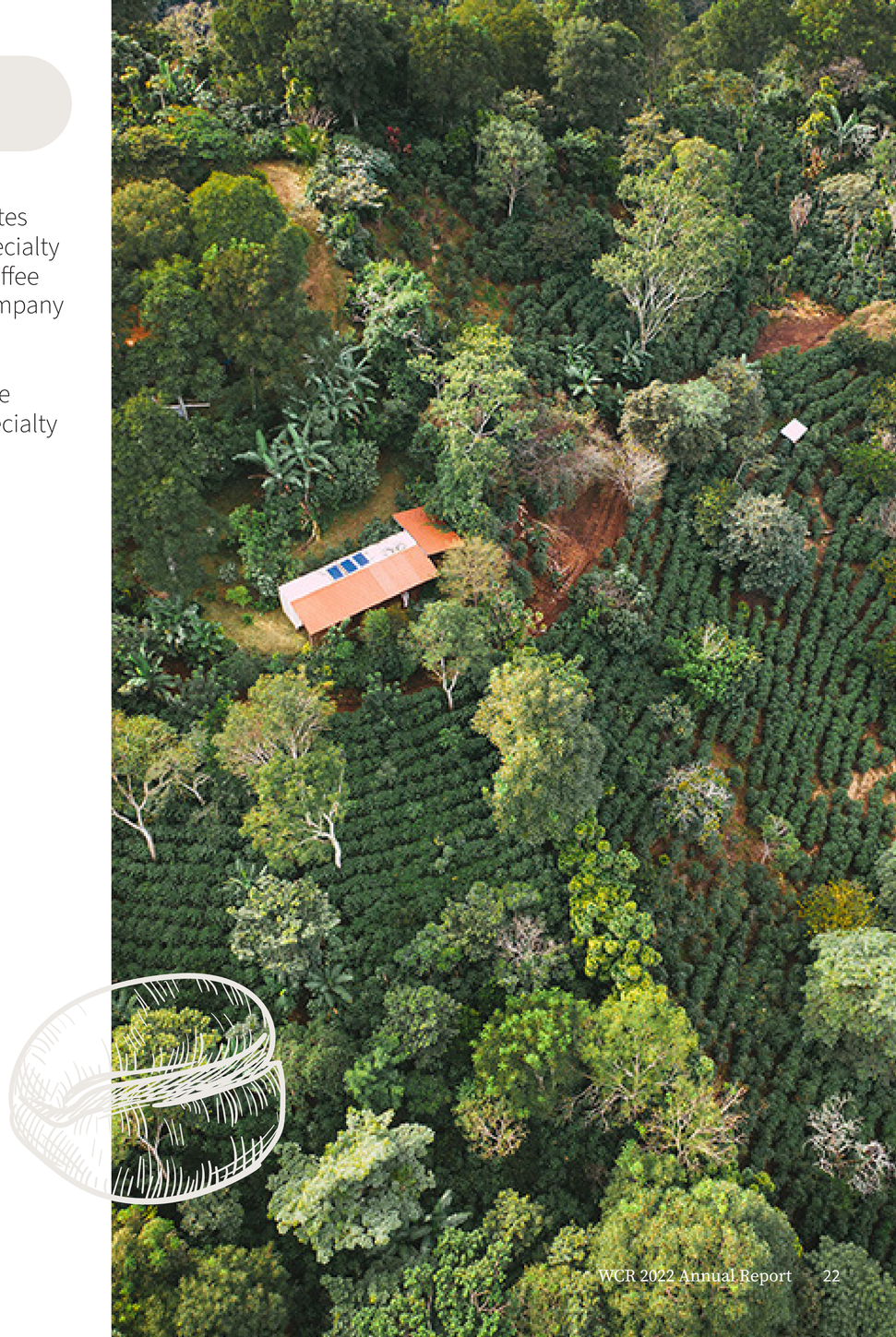
参加サプライヤー: マッチング/貢献

- Atlas Coffee Importers
- Cafe Imports
- Caravela Australia Pacific
- Caravela Coffee Europe
- Caravela Coffee USA
- Coffee Unified
- Condesa Co. Lab
- Covoya Americas
- Covoya Ltd.
- Crop to Cup Coffee
- CUPRIMA
- Descamex
- DRWakefield
- Excelco Trading
- Hacienda La Minita
- InterAmerican Coffee/Neumann Gruppe USA
- Intercontinental Coffee Trading
- List + Beisler
- Melbourne Coffee Merchants
- OFI International
- Primavera Coffee Importers
- Sucafina Specialty EMEA
- Sucafina Specialty North America
- Sustainable Harvest
- Swiss Water Decaffeinated Coffee Company
- The Coffee Source
- Trabocca
- Walker Coffee Trading

参加サプライヤー: 不一致

- American Coffee Corporation
- Atlantic Specialty Coffee
- Be Green Trading
- Benchmark Coffee Traders
- Bourbon Specialty Coffee
- Cape Horn Coffee Company
- Collaborative Coffee Source
- Coopfam
- East Africa Coffee Co. LLP
- Expocaccer Cooperativa dos Cafeicultores do Cerrado
- Falcon Coffees
- Gollücke & Rothfos
- Greencof
- InterAmerican/ Neumann Gruppe
- Kawacom/ECOM
- La Bastilla Coffee Estates
- Mercon Specialty
- Paragon Coffee Trading Company
- Racafe
- RGC Coffee
- Royal Coffee
- Volcafe Specialty Coffee

WCRのメンバーになろう!



参加するロースター/小売店

- 1Cup Coffee Roasters
- Allegro Coffee Company
- Bäckerei Happ GmbH & Co.
- Barrie House Coffee
- Beanstock Coffee Roasters, Inc.
- Bewley's North America /Java City
- Black Oak Coffee Roasters
- Blume Coffee Traders
- Bodum Roasting
- Bolt Coffee Company
- Boxcar Coffee Roasters
- Brewpoint Coffee
- Cafe Virtuoso
- Calendar Coffee
- Chameleon Cold-Brew
- Coldblow Coffee Company
- Colour Coffee Roasting Ltd
- Curve Coffee Roasters
- Dancing Goats Coffee
- Dark Woods Coffee
- Dear Green Coffee Roasters
- Dunn Brothers Coffee
- ECRE
- Equator Coffees
- Fortitude Coffee Roasters
- Full City Rooster
- Greenway Coffee Company
- Heart and Graft Coffee
- Horsham Coffee Roaster
- Huckleberry Roasters
- Intelligentsia Coffee
- Irving Farm New York
- Johann Jacobs Haus
- Junker's Café-Rösterei
- Kaldi's Coffee
- Kittel Coffee
- Kona Kaffeerösterei
- La Colombe Coffee Roasters
- Landmark Specialty Coffee
- Limini Coffee
- Market Lane Coffee
- Monastery Coffee
- MoonGoat Coffee Roasters
- Mr. Espresso
- North Fork Coffee Roasters
- Olisipo Coffee Roasters
- Origin Coffee Roasters
- Ozo Coffee Roasters
- Philz Coffee
- Quaffee
- Rave Coffee
- Rimini Coffee
- Ringtons Ltd
- River City Coffee
- Roast House Coffee
- Rose N Crantz Roasting Co.
- Rose Park Roasters
- Ross Street Roasting Co.
- Roundtable Coffee Works
- Saint Henri - Micro Torrefacteur
- Small Planes Coffee
- Spyhouse Coffee Roasting Co.
- Square One Coffee Roasters
- Stitch Coffee
- Structure Coffee Roasters
- Taylors of Harrogate
- Temecula Coffee Roasters
- Temple Coffee Roasters
- The Roastery
- True Stone Coffee Roasters
- Vagabond Coffee Roasters
- West Cork Coffee Roastery

理事会

理事会メンバーには世界のコーヒー企業 から優れたリーダーと頭脳が集結し、WCRのプログラムを導く活動に舞台裏で 精力的に取り組んでいる。

Jim Trout
J.M. Smucker Co.
Chair

James McLaughlin
Intelligentsia Coffee
Vice Chair

Giacomo Celi
Mercon Coffee Group
Secretary

Shawn Hamilton
Klatch Coffee
Treasurer

Hope Bagozzi
Tim Hortons

Mario Cerutti
Lavazza

Kelly Goodejohn
Starbucks Coffee Company

Nadia Hoarau-Mwaura
JDE Peet's

Mark Howell
Community Coffee Company

Andrea Illy
illycaffè S.p.A.

Liz Longstreet Darr
National DCP - Dunkin'

Monique Oxender
Keurig Dr Pepper

Victoria Salin
Texas A&M (TAMU)

Pablo von Waldenfels
Tchibo

Keith Writer
Taylors of Harrogate

追加の理事会委員:

Eve Bartnick (Swiss Water Decaffeinated Coffee Company), **Philippe Casas** (JDE Peet's), **Ingo Lantz** (Tchibo), **Ellen Nielsen** (Probat), **Gloria Pellegrino** (Lavazza), **Corrado Piscanec** (illycaffè), **Matt Saurage** (Community Coffee Company), **Fionula Scanlan** (Taylors of Harrogate), **Luca Turello** (illycaffè), **Joe Vaughan** (J.M. Smucker Co.)

チーム

チームでは、高品質コーヒー供給を増 大し生産者の生活を改善するために、品種改良システムの近代化に向けて意 欲的なアジエンダの実現に取り組んで いる。

リーダーシップ

Dr. Jennifer “Vern” Long
CEO

Dr. Tania Humphrey
RESEARCH & DEVELOPMENT DIRECTOR

Dr. Kraig Kraft
ASIA & AFRICA DIRECTOR

Salvador Urrutia Loucel
LATIN AMERICAN DIRECTOR

Hanna Neuschwander
STRATEGY & COMMUNICATIONS DIRECTOR

Liam Cummins
FINANCE DIRECTOR

Siaska Vieira de Castro
PEOPLE & ADMINISTRATION DIRECTOR

チーム

Julio Alvarado
Regional Breeding, Trialing, and Quality Assistant

Santos Barrera Lemus
Research Scientist – Plant Breeding and Genomics

Jorge Berny Mier y Teran
Research Scientist – Plant Breeding and Genomics

Elly Castro
Regional Project Manager Latin America

Neil Franje
Country Agronomist Philippines

Kristin Franklin
Contracts and Grants Manager

José María Gómez Vargas
Global Project Administration and Learning Manager

Koleen Hall
Business Manager

Jarrod Harris
Finance and Post-Award Manager

Alexa Heinicke
Senior Corporate Membership Manager

Maeve Holler
Communications Manager

Jean Baptiste Kayigamba
Breeding Hub Technician East Africa

Catherine Mumba Maina
Global Variety Trials & Project Manager

Amber Mascari
Accounting Manager

Jimmy More
Project Manager Peru

Nick Muir
Breeding Manager

Simon Martin Mvuyekure
Breeding Hub Advisor

Maureen Namugalu
Country Project Manager Uganda

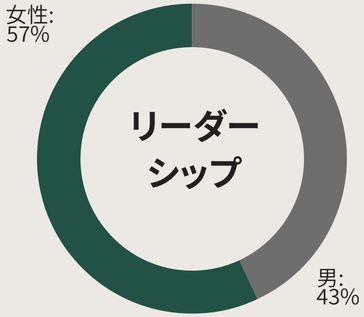
Maud Nicolas
Executive Administration and Membership Manager

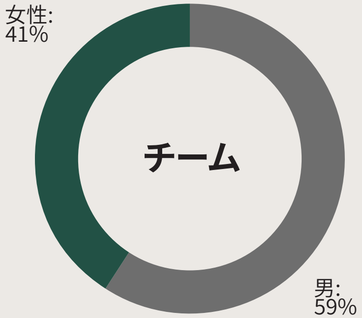
Nuzul Qudri
Regional Project Manager Asia

Emilia Umaña
Nursery Development Program Manager

Jesslin Zeledón
Project Specialist

2022 年 12 月 31 日の時点で、WCR チームのメンバーは次のとおりです。





16か国に住んでいます

コアバリュー

すべての活動を導くコアバリュー

協力を重視する

機転をきかせ好奇心を持つ

重要な問題を解決する

カイゼンの精神を採用する

アカウンタビリティを重視